


# 図書館だより

2014年12月号 (No. 167)

発行：鶴ヶ島市立図書館 [https:// www.lib.tsurugashima.saitama.jp](https://www.lib.tsurugashima.saitama.jp)  t\_roncyan  
〒350-2223 鶴ヶ島市大字高倉1247番地1 TEL049-271-3001 FAX049-271-0121 (中央図書館)

今年も残すところあとわずか！素敵な本に出会えた一年でしたか？  
今年の締めくくりに、図書館職員からおすすめの本をご紹介します！



## 「地方消滅 東京一極集中が招く人口急減」

増田寛也／編著

中央公論新社 社会科学 334.3マ

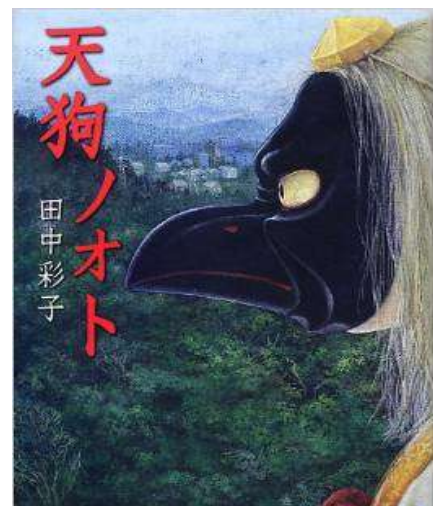
若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入し、地方ではすでに高齢者も減り始め、大都市では高齢者の割合が増えています。子どもを生き育てられる社会へ変わるための戦略を考える一冊。巻末の「将来推計人口」も必見です。

## 「天狗ノオト」

田中彩子／作

理論社 ティーンズ タナ

「天狗ニアフ」と祖父が遺した日記から、小学6年の保たちが天狗の世界に引き込まれていきます。人間の現実の世界と天狗が住む山の異界の境目を行き来する不思議な物語です。主人公が小学生ですが、児童書というより大人が充分楽しめる作品です。





### 「日本中世合戦史の研究」

新井孝重／著

東京堂出版 地域資料 L200.6ア21

地域資料の選定は、書店で現物を見たり、書誌情報の内容からキーワードを決めて購入伺いして受け入れます。本書も、「内乱期高麗氏の厭戦意識」と「戦国期北武蔵の戦乱」の2件が目的でしたが、図らずも「戦国土豪内田氏の系譜」というきわめてデリケートな内容を明快に述べている著者の資料探訪の細かさに感服しました。

### 「親の家を片づける実践ハンドブック」

主婦の友社／編

主婦の友社 高齢者と暮らし 367.7オ

高齢の親を持つ人々の共通の悩みのひとつが、家の中を片づけられないこと。物を捨てることに罪悪感を持つ世代ゆえ、説得するのも一苦労です。親子の良い関係を保ちつつ、プライドを傷つけずに納得して物を減らしてもらうためのヒントが詰まっています。



### 「アイスクリームの皇帝」

柴田元幸／選・訳 きたむらさとし／絵

河出書房新社 読み物 931ア

名翻訳家の柴田元幸が選び抜いた英米詩を、英語・日本語の対訳でたっぷり味わうことの出来る、大人の絵本。

難解な詩も多いけれど、センスがいいチョイスなので、雰囲気で見せる。きたむらさとしの絵が詩とぴったりで、とってもお洒落！

英語がわからなくても十分楽しめるけど、わかる人なら倍楽しめるかも。

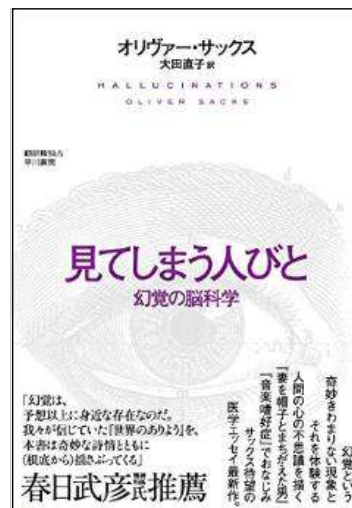


## 「見てしまう人びと」

オリヴァー・サックス／著 大田直子／訳

早川書房 自然科学 493.7 サ

幻覚は、薬物中毒や精神疾患でなくとも、多種多様な原因でおこる「正の」現象で、昔から伝わる不思議な伝承や芸術、神事なども、幻覚体験に起因するのではないかと思わせるものがたくさんあります。自分は霊感が強いと思っているあなた、それは幻覚ではありませんか？



## 「トラウマティック・ブレイン」

橘とも子／著

SCICUS 読み物 916 タチ

16歳の時に暴走自動車に激突されるという大事故に遭った著者は、かろうじて一命をとりとめるも、極めて深刻な“高次脳障害”とともに生きていくことを余儀なくされます。絶望的な心身の苦痛に打ち勝ちながら強く生きていく彼女の姿勢に大きく心打たれるものがありました。高次脳障害によって心身が大きく変化していくさまを、並ならぬ努力の末に医師となった自身がつづった作品です。



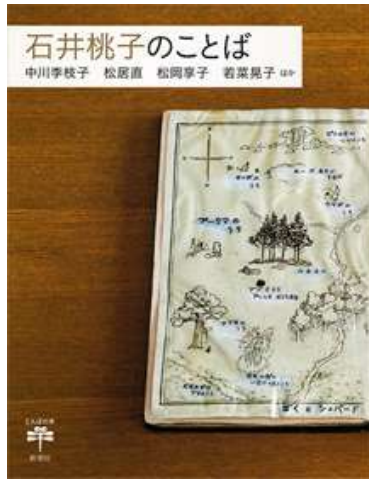
## 「田舎のパン屋が見つけた『腐る経済』」

渡邊格／著

講談社 ビジネス 673.7 フ

岡山県の山の中にある一軒のパン屋「タルマーリ」。だが、この辺境の地へと赴くパン好きが後を絶たない。私も一度だけ食べたことがあるが、涙をこぼすほど感激した。著者は会社を辞めてパン屋になろうと、資本の論理が支配する世界の外に出たつもりが、まちのパン屋で働くことで「腐らない」お金が生み出す資本主義の矛盾を痛いほどあじわう。そして今まで一度も本を手にとったことのなかったマルクスとの出会い。お金中心の「腐らない」経済から発酵を繰り返す「腐る」経済へ。経営理念は利潤を出さないこと。田舎の片隅でこの「不思議なパン屋」が起こした静かな革命が、いつか日本を変えてくれるかもしれない。





### 「石井桃子のこぼれ」

中川李枝子・松井直・松岡享子・若菜晃子ほか／著  
新潮社 読み物 910.2 イシ

「大人になってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは 子ども時代の『あなた』です」ということばに、今の自分を支えているのが子ども時代のささやかな思い出の数々なのだと気が付くとともに、子どもたちと接する仕事の重みと喜びを感じました。

### 「八月の六日間」

北村薫／著  
角川書店 読み物 キタ

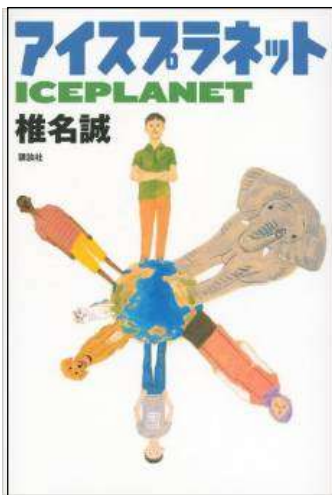
仕事の疲れと私生活のどんよりとした不調、それでも肩ひじはっていたわたし。そんなとき同僚が言った。「山へ行きませんか？」以来、まとめて休みがとれると山へ行く。リュックに持って行く物をひとつひとつつめる。一步一步登っていく。出会うのは…。



### 「アイスプラネット」

椎名誠／著  
講談社 ティーンズ シイ

「僕」の家には写真家の叔父「ぐうちゃん」が居候っていて、世界を旅した体験談を聞かせてくれる。でもその話はデタラメにしか思えない。「僕」は次第に叔父を避けるようになり……。児童向けに書かれた物語ですが、掲載された「ぐうちゃんの撮った写真」は著者自身が各地で撮影したものであり、冒険エッセイの趣もあります。



### 「ヤナの森の生活」

ヤナ／著 ケイコ・フォレスト／訳  
WAVE 出版 読み物 93 ヤナ

フランス人の女性ヤナが旅の末辿り着いたのは、ハワイ島だった。自ら森を作り、森と一体化した壁も屋根も電気もない暮らしを紹介するこの本は、ヤナの生活のようにとってもカラフルで、豊かな世界を見せてくれます。



### 「大おぼさんの不思議なレシピ」

柏葉幸子／作 児島なおみ／絵  
偕成社 よみもの **カシ**

「まるでなにかに呪われている」くらいに不器用な美奈は、大おぼさんが残したレシピノートに挑戦します。  
実はこのノートのレシピを作りはじめると、不思議の世界へワープしてしまうのです。おせっかいで負けず嫌いな美奈がおくる、4つのレシピをめぐる4つの冒険。



### 「エコー・メイカー」

リチャード・パワーズ／著 黒原敏行／訳  
新潮社 読み物 **93 パワ**

現代アメリカ文学の最高峰、天才パワーズの代表作です。私たちの日常から遠く離れた地での出来事ながら、そこで起こる姉と弟の物語は、国や人種を越えて魂の奥深い場所に直接響いてくるのです。静かに心揺るがす物語です。



### 「インコがやっぱり、いちばんかわいい！」

只野ことり／編著  
日本文芸社 住宅・園芸・ペット **646.8 外**

インコと飼い主の数だけ出会いのストーリーがあります。出会いはいつも突然だったり、オス・メスで性格が違ったり、なぜ机の上に置いてある物を落とすのか？など。インコの飼い主の気持ちがもっとわかっちゃいます！かわいいイラストとほっこり4コマ漫画で楽しく読める一冊です。



### 「本へのとびら—岩波少年文庫を語る」

宮崎駿／著  
岩波書店 しらべる **909 ミ**

大切な本が一冊あればいい。児童書は「生まれてきてよかった」と子供に送るエールだと熱く語る著者。珠玉の作品たちへの愛情あふれる紹介文には大人の心をも揺さぶるものがあります。良質な物語と出会うなら、この中からもオススメ！



# 中央図書館 12・1月行事予定

月 日	行 事 名	主 催
12月5日(金)、19日(金) 1月9日(金)、16日(金)	講座「東海道中膝栗毛」を読む	青葉の会/ 鶴ヶ島市立図書館 共催
12月23日(火)	クリスマスおはなし会	鶴ヶ島市立図書館
1月10日(土)	人権問題講演会	鶴ヶ島市(共催:教育委員会)
1月24日(土)~25日(日)	市内小中学校 図工・美術展覧会	鶴ヶ島市教育研究会
1月31日(土)	図書館情報活用講座	鶴ヶ島市立図書館

\* 展示は、中央図書館の休館日にはご覧いただけません

## 中央図書館の開館日とおはなし会の予定

開館時間：午前9時30分～午後6時  は休館日

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

おはなし会	毎週日曜日 11時から
かみしばいの会	第2・4土曜日 11時から
あかちゃんとおかあさんのためのおはなし会(0~1歳向け)	第1金曜日 11時から ※1月は9日(金)に実施します
ぴよぴよタイム(1~3歳向け)	第3木曜日 11時から
おはなしの小箱(主に素話)	第3土曜日 11時から
わらべうた	第4火曜日 11時30分から

## 分室の開館日とおはなし会の予定

開館時間：午前10時～午後5時

東分室(水・金・土・日曜日)	おはなし会 毎週金曜日 11時から
西分室(水・木・土・日曜日)	にこにこあかちゃん(あかちゃん向け) 第2水曜日 10時30分から おはなしランド(幼児向け) 第2・4木曜日 11時から
南分室(水・金・土・日曜日)	おはなし会(あかちゃん向け) 毎週金曜日 11時から おはなし会(小さな子~小学生向け) 毎週日曜日 10時30分から
北分室(火・金・土・日曜日)	おはなし会(小さな子向け) 第1・3・5金曜日 11時15分から
富士見分室(火・木・土・日曜日)	おはなし会 毎週木曜日 11時から
大橋分室(火・木・土・日曜日)	おはなし会 毎週木曜日 11時15分から